

## やまと文化の森だより 企画展のご案内

併設好評開催中!! (最終日は午後3時までの展示です)

12月の企画展示  
12/2 (火) ▶12/25 (木)  
○第6回 クリスマスツリーコンテスト  
恒例企画のクリスマスツリーコンテスト!  
魅力あふれるツリーがたくさん集まります。

1月の企画展示  
1/8 (木) ▶1/25 (日)  
○防災展 ~突然の脅威に備えて~  
非常時に使用する段ボール製のベッドや、パネルの展示を行います。

1/18 (日) 午後1時~ 入場無料  
○防災講話 ~災害は必ずやってくる~  
【講師】山都町危機管理監 野口 勝広 ■参加者には防災用ホイッスルをお渡しします。

○プティ・マルシェ 12/6 (土) 12/7 (日)  
○ウィンターマルシェ&蚤の市 1/25 (日)

問合 山都町下市16番地 ☎72-9400 開館時間 午前9時~午後5時 入館無料  
休館日 毎週月曜日 (月曜日が祝日または振替休日の場合は次の平日)、年末年始など

クリスマス企画  
チェロチェロピアノコンサート  
12/21 (日)  
午後2時~午後3時  
入場無料  
・ピアノ: 須藤かよ  
・チェロ: 竹村昌代 斎藤美紀

## 山の都移住すまいるセンター通信12月号

### ホームページで移住者インタビュー記事を掲載しています!

山の都移住すまいるセンターのホームページでは、移住希望者の皆様に向けて町の情報や空き家バンク登録物件の紹介のほか、実際に山都町に移住された方々へのインタビュー記事を掲載しています。改めて町民の方や移住を検討されている方に移住者のリアルな声をお届けすることで、山都町の魅力を感じていただければと思います。

今回は、地域おこし協力隊を経て独立し、起業を果たした比嘉さんご夫婦、そしてお母さんの故郷である山都町に移住し、地元で就職された池田さんのストーリーをご紹介します。

また、Instagramでは、山都町移住すまいるセンターの最新のイベント情報なども発信しています。ぜひ一度ご覧ください。

問合 山の都創造課 ☎72-1158



移住すまいるセンター Instagram



@YAMATO\_SMILECENTER

移住すまいるセンター ホームページ



# わたしたちの人権

249

誰もが人間として生きていくうえで  
侵すことのできない当然の権利  
これが『人権』です

『差別と偏見』

人権「同和」問題研修会  
10月16日に中尾児童館において、人権「同和」問題研修会が開催されました。  
真宗大谷派延隆寺(下大川)の住職、菊池成明さんを講師に迎えて、「人間が人間であるために、部落差別と人権」と題して講演され、約80人の参加者がありました。  
今回は講演の内容を要約して紹介します。

いろいろな人たちが一緒に生活していく時に民族や国や宗教によって差別されるということがあってはならない。社会的や時代的に一方的に差別として語られてきたことというのが偏見ということになる。今でもその偏見は身近にあるのではないか。

『人生は苦なり』

苦しみという文字には、思い通りにならないという意味合いもある。四苦八苦という言葉の一つに「求不得苦(ぐふとく)」がある。これは、求めているものが得られない苦しみ。これは、私たちが何かを求めても満たされないと感じる心です。また「五蘊盛苦(ごうんじょうく)」とは何かこれでもかという欲が止められないことを意味します。

『解放運動と同和对策事業』

同和保育園(現山都みらい保育園)ができたのは昭和57年。当時、保育園を作りたいという願いがあった。ムラの人たちはほとんど日雇いで朝の7時過ぎには、保育園の正門で子どもにパ

『人間一人ひとりの尊厳』

「天上天下唯我独尊(てんじょうてんげゆいがどくそん)」とは、お釈迦様が発した言葉で、一人ひとりの尊厳、または、この世のすべての命の尊厳という意味である。解放運動で水平社宣言起草した、西光万吉さんも人間は尊敬すべきものである、ということを一歩言いたかったことである。人それぞれ持ったものは違うけれど、それは一つ一つの命の尊厳、お互いを大切にしていくというものであると聞いたかったのである。

『参加者の声』

・人の値打ちを生まれた場所で決めるは絶対にいけないと思います。人間の本質的な差別をなくすことは難しいと思います。これからは闘い続けなければいけないと思います。

・お話しの中で「いろんな人の生き方や命があつてこそ、自分の命がある」という言葉がとても印象に残りました。どの命にも大きい小さいはなく、尊いものであることを改めて感じ、子どもたちにも伝えていかなければと感じました。  
・本日の講演会の中でも紹介があった「自分のムラだけよくなっても差別はなくならない、町全体が豊かにならないといけない」という前書記長の言葉にはいつも感銘を受ける。また、「生まれによってではなく、行為によって賤(いや)しい人、貴い人になる」という言葉もこれから大切にしていきたいと思った。

・仏教の教えでは、人は平等であり、差別はないはずなのに差別法名などが行われていたことが分かりました。お坊さんというのは、昔からありがたい存在だったのに、その人たちが差別に加担していたというのは、信じられないことだったのだろうと思います。

・結婚差別について、昔は特定の部落の人と結婚するだけで生まれてきた子どもや嫁いできた奥さんは差別された事実を知り、根強い差別があったことを認識した。昔のようなことが二度と起こらないよう誰にも人権があることを深く認識して生きていきたいと思

自分の人権を守り  
他人の人権を守る  
責任ある行動を



©2010 熊本県くまモン

『はじめに』  
この児童館が昭和56年にできたころ、故藤本前書記長から声がかかり、児童館に勤めることを勧めていただいた。そして、ここでは部落差別をなくそうとする解放運動について私自身が学んでいくという思いで9年間勤めさ



山都町 人権「同和」問題研修会